

# 頑張っています 電子母子健康手帳

日本産婦人科医会  
渉外担当常務理事  
宮崎亮一郎

## 渉外担当

---

### 渉外

- 医会HP
- 記者懇談会
- eラーニングシステムの運用
- 産婦人科施設情報データベースの管理
- その他

### 情報システム委員会

- 電子母子健康手帳記載データ項目の標準化  
(電子母子健康手帳標準化委員会)
- 会員カードの検討
- 産婦人科医療のICT(Information and communication technology)について行政への働きかけ
- 電子会議の活用
- HPシステム上の運用

現在は、30か国以上の国や地域で活用されています。



世界の母子健康手帳の利用状況(2015年1月時点)

※上記は、HANDSが過去や現在に把握した範囲での情報をお知らせしています。

ハンズHPより

国・地域全体に普及 または国家プログラム	日本、韓国、タイ、インドネシア、 ブータン、東ティモール、オランダ、 フランス、ユタ州(米国)、ニジェール、 チュニジア、コートジボワール、 セネガル、ブルキナファソ、ベナン、 ケニア、ドミニカ共和国、など
普及プロジェクトが推進中 (JICA、ユニセフ、NGOなどの 協力)	ベトナム、パレスチナ、ラオス、カ ンボジア、バングラデシュ、フィリピン、 ミャンマー、モンゴル、マダガ スカル、カメルーン、タンザニア、 など
導入を準備・検討	ブルネイ、中国、ウガンダ、など

ハンズHPより



## 母子健康手帳の構成

---

### 3：母子健康手帳の様式について

#### ① 省令様式とは

母子保健法第16条において、母子健康手帳の様式は厚生労働省令で定めることとされており、母子保健法施行規則（厚生労働省令）第7条において、様式が定められています（いわゆる「省令様式」）。母子健康手帳は各市町村で作成されますが、省令様式部分は全国共通であり、平成24年度からの新様式では表紙から51ページまでがこれにあたります。主な内容は、妊娠中の経過、乳幼児期の健康診査の記録、予防接種の記録、乳幼児身体発育曲線などです。

#### ② 任意様式とは

母子保健法施行規則第7条において、省令様式のほか、日常生活上の注意や乳幼児の養育に必要な情報などを示した面を別に設けるものとされています（いわゆる「任意様式」）。任意様式については、厚生労働省から通知によって作成例が示されており、主な内容は、日常生活上の注意、子育て上の注意、妊産婦・乳幼児の栄養の摂取方法、予防接種に関する情報などとなっていますが、各市町村の判断で、独自の制度など具体的な記載内容を作成することが可能です。

## 省令様式

---

- 本人の記載部分
- 医師（産婦人科、小児科、歯科）、助産師等の記載部分
- 市区町村長の記載部分（出生届出証明）

## 任意様式(1)

---

- 予防接種
- 成長曲線(保護者自身が記入)
- 子供がかかった主な病気
- 歯科医師
- すこやかな妊娠と出産のために
- 胎児発育曲線
- シートベルト
- マタニティマーク
- 妊娠中と産後の食事
- 妊産褥婦のための食事バランスガイド

## 任意様式(2)

---

- 新生児
- 育児のしおり
- 子どもの病気やけが
- お母さん・お父さんの悩みや子育てに関する相談
- 事故の予防
- 乳幼児期の栄養
- お口と歯の健康
- 働く女性・男性のための出産、育児に関する制度
- 主な医療給付の制度
- 産科医療補償制度
- 児童憲章など

## 母子健康手帳電子化の意義

---

### <医療者側>

- カルテを多施設で共有できる

### <妊産婦側>

- 膨大な資料を身近なツールを使用して閲覧できる
- 予防接種のスケジュール管理、発育曲線等グラフ表示ができる
- 持ち歩かなくてもよい

### <市区町村側>

- 妊産褥婦の保健指導ができる
- 予防接種の管理ができる

## 母子健康手帳電子化の問題点

---

### <医療者側>

- 診療用の電子機器との連携(巨額のお金など)

### <妊産婦側>

- 個人情報の漏洩
- ツールが必要

### <市区町村側>

- 情報管理の問題

## 電子母子健康手帳標準化

---

現在、母子健康手帳の電子化は複数の企業・団体が進めているものの、記録内容やデータ形式が統一されておらず、医療連携などの際システム間での連携が困難となり、データを活用した医療の質の向上や医療政策に生かされていらない。

このような問題を解決すべく、電子母子健康手帳標準化委員会では、胎児、新生児、乳児、学童期の健康維持管理や罹患・障害の早期発見などに必要な身長・体重などの各種パラメータ、感染症・ワクチン接種情報、病気・各種検査などの標準的な記載法を提案していく。